

令和4年2月21日
総務部人事課

高層気象台が人事院総裁賞を受賞

～高精度な高層気象観測の開始から100年。世界の基準観測地点として貢献～

高層気象台（茨城県つくば市長峰）が、第34回「人事院総裁賞（職域部門）」を受賞することになりました。

1. 人事院総裁賞の趣旨

人事院総裁賞は、国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し、国民の公務に対する信頼を高めることに寄与した職員または職域を顕彰するもので、昭和63年の創設以来、今回で34回目となります。

2. 顕彰理由

100年以上の長きにわたり高精度な高層気象観測を継続し、得られた観測データは、天気予報をはじめ、地球環境・気候変動の研究・監視・評価のための情報基盤として活用され、国民の生命・財産を守る防災気象情報の根幹を支えるなど、公務の信頼を高めることに貢献したことが、今回の受賞に繋がりました。

別紙（高層気象台の概要）

3. 授与式

2月28日（月）明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式が行われる予定です。

4. 参考

別途、人事院において報道発表されています。

問合せ先：（業務内容に関すること）高層気象台 担当 森脇・小松崎
電話 029-851-4125（内線 224・217）
（その他に関すること）総務部人事課 担当 松本・永田
電話 03-6758-3900（内線 2302・2303）